

系統豚の効率的維持のための統合型ソフトを利用した種豚リスト・フォーム

(中小家畜部)

1. 背景とねらい

現在、本県が造成した系統豚イワテハヤチネ(L)、イワテハヤチネW1、2の3系統が維持されているが、系統豚の維持においては近親交配による遺伝的能力の変化をできるだけ回避するために、近交係数の上昇を抑えることが重要である。平成元年度に参考事項として近交係数の上昇を抑える種雄豚の更新法を検討したが、近交係数までのプログラム操作が煩雑だったため今回市販の統合型ソフトを利用して操作の簡易化を図ったので参考に供する。

2. 技術の内容

この種豚リストフォームは個体(コード)番号、性、生年月日、父番号、母番号などを入力すると近交係数までの処理操作が簡易に行えるように設計したもので、キー操作の簡略化により、ここで使用している市販の統合型ソフトに慣れていない人でも利用可能である。

●種豚リストフォームの概要

① 種豚リスト(データベース)の作成

データベースとして種豚リストを作成することによって、近交・血縁係数の計算をしたい個体のリストアップを自動的にさせ、近交・血縁係数の計算用データファイルの作成及び入力が容易にできる。

例 リストの項目

区分	個体番号	コード番号	性	母番号	父番号	生年月日	備考
0	8135	1013	1	6166	6059	88/03/02	
1	8404	1015	1	6197	6005	88/09/19	
1	7048	2035	2	6006	6082	87/02/19	
.	
.	
.	
.	

注：区分は生：1、死：0の別、コード番号は近交係数計算用プログラムに入力時に用いる。性は雄：1、雌：2

② マクロ命令キー 一覧表 (CTRLと同時にアルファベットの文字キーを押す。)

操 作	キー	処 理 内 容
画面の変更	CTRL + X	操作メニューから選択して問い合わせ画面、条件画面、出力画面の各々に変更させる。
生年月日 (西暦) の入力	CTRL + A	西暦の入力 : 例 92,3,1→92/03/01で表示される。
データベース条件抽出	CTRL + D	問い合わせ範囲を指定すると条件に合うデータが出力部に抽出される。
テキストファイル作成	CTRL + T	抽出されたデータからファイル名 (任意) を指定するとコード番号がテキストファイルに保存される。

3. 指導上の留意点

- ①必要機器はPC9801シリーズ (コンピュータ本体)、ディスプレイ、プリンタ。また使用ソフトであるLOTUS1-2-3 (2.2J) は購入すること。
- ②リスト入力後はファイルを必ず保存し、バックアップをとっておくこと。
- ③LOTUS1-2-3の移動コマンド、行または列の挿入及び削除コマンドは使用を避けること。

4. 関連試験課題名

系統豚の長期的維持のための効率的更新法 (昭63~平12)

5. 参考資料

- ・平成元年度指導上の参考事項 (系統豚維持群の近交係数の上昇を抑える種雄豚の効率的更新法)
- ・パソコンソフト活用の手引 (平成元年 岩手県農政部農村振興課)